

平成29年度関東倶楽部対抗決勝競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 48倶楽部・144名)

Aクラス

期日：6月19日(月)

場所：茨城ゴルフ倶楽部 東コース

(18ホール・ストロークプレー)

(一社)関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	篠原 力	長野	山田 秀樹	習志野	白井 敏夫	総武	横倉 康彦	鹿島の杜
2	7:39	福田 正明	富士笠間	三母 英二	日本海	佐藤 友久	唐沢	日暮 俊明	扶桑
3	7:48	磯 誠一	塩原	磯野 芳	加茂	古沢 章司	ディアレイク	堀 文明	湯田上
4	7:57	伊禮 進	埼玉国際	小野里 篤雄	レーサム	渡部 千秋	塩嶺	遊佐 正樹	大厚木
5	8:06	露木 実	平川	三上 修平	エーデルワイス	上重 修	東千葉	鈴木 史敏	十日町
6	8:15	橋本 茂樹	皆川城	石倉 真成	中山	佃 一生	伊香保GC	山口 賢一郎	富士小山
7	8:24	小林 祺一郎	富士チサン	橋本 哲夫	総武	鈴木 正剛	横浜	黒岩 護	長野
8	8:33	舟岡 誠	塩原	寺沢 洋	ディアレイク	秋山 清志	ゴルフ5・サニーフィールド	内藤 重徳	千葉夷隅
9	8:42	清水 孝弘	平川	室野 歩	東千葉	橋本 圭司	八王子	阪田 哲男	袖ヶ浦
10	8:51	宮 辰夫	習志野	寺田 稔	鹿島の杜	添田 修司	矢板	篠原 寿	伊香保国際
11	9:00	嶋野 菊治	加茂	山宮 秀一	湯田上	富田 文雄	茨城	白井 健司	水戸
12	9:09	関 友己	エーデルワイス	福原 晋平	十日町	中川 義昭	妙高	峯澤 克之	メイプルポイント
13	9:18	大和田 輝夫	鹿島の杜	松山 隆	長野	中井 教尋	富士チサン	原田 建実	日本海
14	9:27	高橋 幸栄	埼玉国際	中曾根 久	大厚木	染谷 文夫	玉造	福田 聡	エーデルワイス
15	9:36	川島 美則	唐沢	原 継雄	横浜	杉山 茂	伊香保国際	福山 憲一	習志野
16	9:45	栗原 隆	レーサム	呉本 生福	諏訪湖	小野 忠	那須小川	八木 伸二	東千葉
17	9:54	石原 紀一	総武	仲島 陽一	矢板	根本 正明	富士笠間	高野 敏治	扶桑
18	10:03	中澤 義房	塩嶺	中野 雅文	葛城	大部 一成	平川	保坂 恭久	十日町

10番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	光山 富夫	横浜	遠藤 岳志	矢板	渡辺 元嗣	富士チサン	狩野 又男	伊香保国際
20	7:39	小川 透	岡部チサン	細沼 実	JGMベルエア	青木 一夫	オリムピック	南雲 芳憲	大宮国際
21	7:48	椎野 俊朗	ゴルフ5・サニーフィールド	澤田 信弘	茨城	佐久間 淳	千葉夷隅	平澤 良雄	水戸
22	7:57	藤森 勇一	諏訪湖	神戸 庄二	葛城	大川 厚志	玉造	田村 次郎	那須小川
23	8:06	安藤 謙治	八王子	高村 伸吾	妙高	和田 博	袖ヶ浦	石井 重次	メイプルポイント
24	8:15	永井 英輔	東京国際	池田 陽介	武蔵	長尾 福治郎	成田GC	平戸 進二	清川
25	8:24	森戸 友一郎	富士笠間	井尾 光義	唐沢	前田 正雄	岡部チサン	片野 由次	オリムピック
26	8:33	渡辺 和行	玉造	呉本 達天	塩嶺	座光寺 透	諏訪湖	大久保 秀樹	埼玉国際
27	8:42	榎本 暁彦	皆川城	伊藤 誠二	伊香保GC	村野 浩太郎	東京国際	横田 耕太郎	成田GC
28	8:51	生居 慎司	日本海	山下 勝紀	扶桑	小野 茂	JGMベルエア	吉増 一郎	大宮国際
29	9:00	飯塚 勝	レーサム	善方 幸次	大厚木	山崎 雅文	葛城	鈴木 盛生	那須小川
30	9:09	田中 順一	中山	西田 豊明	富士小山	森 一郎	武蔵	濱田 正行	清川
31	9:18	関根 幸一	岡部チサン	高橋 貞雄	大宮国際	江連 秀樹	ディアレイク	林 三郎	茨城
32	9:27	五味 俊彦	八王子	初川 輝純	メイプルポイント	丸山 敏夫	伊香保GC	岡田 義和	武蔵
33	9:36	青木 章	JGMベルエア	平山 圭三	塩原	浦野 由和	湯田上	坪井 忠士	千葉夷隅
34	9:45	布施 徹	妙高	金城 正徳	皆川城	及川 克彦	富士小山	松本 武夫	成田GC
35	9:54	白浜 茂靖	オリムピック	那須 久治	加茂	篠原 智	ゴルフ5・サニーフィールド	尾崎 幸一郎	水戸
36	10:03	原田 晃	袖ヶ浦	仲村 高穂美	中山	矢部 嘉一	東京国際	秋元 省二	清川

競技委員長 内藤正幸

平成 29 年度 関東倶楽部対抗決勝競技

開催日 : 6月 19 日(月)

開催コース : 茨城ゴルフ倶楽部 東コース A クラス

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
2 番と 8 番ホールの間にある石碑及び 13 番ティーインググラウンド右側の神社はプレー禁止の修理地とする。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - 距離標示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーン前後のものを含む)
- コースと不可分の部分
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
- 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

距離表 東コース:A クラス

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	507	182	403	365	368	177	367	390	517	3276
Par	5	3	4	4	4	3	4	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
409	351	375	158	374	493	413	191	482	3246	6522
4	4	4	3	4	5	4	3	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	カートに備え付けのナビゲーターにて通報する。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

6. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

7. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

- パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
- 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
- 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 箱(150 球)を限度とする。
- アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 内藤正幸

平成29年度関東倶楽部対抗決勝競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 48倶楽部・144名)

Bクラス

期日：6月19日(月)

場所：茨城ゴルフ倶楽部 西コース

(18ホール・ストロークプレー)

(一社)関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	小山 宏充	長野	遠山 武志	横浜	舘 英樹	富士笠間	高橋 一誠	岡部チサン
2	7:39	坂輪 成章	平川	島村 敏	八王子	柿沼 博司	皆川城	竹内 規晃	東京国際
3	7:48	高橋 憲一	加茂	相馬 聡夫	茨城	岡田 睦広	レーサム	松浦 勝志	葛城
4	7:57	杉山 稔	総武	垣守 博	富士チサン	佐藤 篤	唐沢	上條 覚	オリムピック
5	8:06	豊島 豊	東千葉	柳澤 信吾	袖ヶ浦	齋藤 誠	伊香保GC	石井 一久	成田GC
6	8:15	阿部 祐希	湯田上	木名瀬 和重	水戸	屋代 亮	大厚木	君島 勇人	那須小川
7	8:24	亀井 隆	唐沢	張田 巧	矢板	伊藤 雅章	長野	丹羽 彦仁	大宮国際
8	8:33	野口 徹	皆川城	大野 達朗	武蔵	青木 慶太	習志野	新海 和樹	富士チサン
9	8:42	松村 茂	那須小川	横田 繁夫	八王子	谷村 朋昭	中山	馬目 時宗	成田GC
10	8:51	田村 一美	千葉夷隅	籠手田 安朗	大厚木	鈴木 信行	平川	竹田 裕司	妙高
11	9:00	武井 悟	JGMベルエア	高村 敏行	ディアレイク	河内 喜文	水戸	茅野 弘喜	諏訪湖
12	9:09	渡辺 泰一郎	日本海	森屋 智之	オリムピック	渡辺 衛	湯田上	八田 雅弘	埼玉国際
13	9:18	広田 文雄	長野	山下 明史	富士チサン	大内田 慎一郎	岡部チサン	秋元 真一	ディアレイク
14	9:27	大沼 祐介	習志野	梅山 明久	伊香保国際	石田 三男	JGMベルエア	坂田 稔洋	湯田上
15	9:36	比留間 秀明	オリムピック	太田 智喜	富士笠間	真辺 則光	総武	相楽 康雄	ゴルフ・サニーフィールド
16	9:45	菅谷 明	鹿島の杜	永田 礼義	日本海	渡辺 信之	大宮国際	磯山 喜一	茨城
17	9:54	佐居 承緒	横浜	遠藤 仁史	唐沢	石井 淳二	塩原	藤本 和大	千葉夷隅
18	10:03	和光 利一	矢板	伊藤 耕治	扶桑	望月 幹仁	加茂	市川 義勝	水戸

10番よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	相馬 義孝	塩原	鈴木 清隆	ゴルフ・サニーフィールド	宮本 匡泰	埼玉国際	小林 浩之	諏訪湖
20	7:39	小寺 聡司	習志野	大橋 由紀夫	矢板	目黒 学	日本海	小見 康雄	JGMベルエア
21	7:48	太田 秀樹	エーデルワイス	藤田 高彦	妙高	奥田 堅太郎	中山	久田 謙	武蔵
22	7:57	藤城 拓也	ディアレイク	清水 充康	千葉夷隅	宮島 一馬	塩嶺	木村 仁	玉造
23	8:06	渡邊 信之	鹿島の杜	井草 洋一	伊香保国際	才記 正明	扶桑	杉山 誠一	大宮国際
24	8:15	内山 洋一	十日町	大橋 祐樹	メイプルポイント	中村 敦史	富士小山	松田 永基	清川
25	8:24	八木沼 仁	ゴルフ・サニーフィールド	高瀬 清美	レーサム	塩出 輝雄	玉造	山田 秀喜	十日町
26	8:33	平野 忠則	扶桑	菊地 一郎	塩原	岩橋 正治	茨城	続木 良博	塩嶺
27	8:42	公原 一	総武	有賀 正起	伊香保国際	関 茂生	岡部チサン	土井 克祥	加茂
28	8:51	藤井 隆之	伊香保GC	松田 永浩	清川	細谷 祐生	鹿島の杜	中野 秀昭	富士笠間
29	9:00	黒滝 公彦	エーデルワイス	水上 晃男	袖ヶ浦	前山 正隆	富士小山	鈴木 淳一	横浜
30	9:09	永田 剛士	葛城	庄司 由	東千葉	市原 敏隆	メイプルポイント	黒田 隆雅	東京国際
31	9:18	佐藤 竜司	埼玉国際	出口 達也	玉造	安藤 謙一郎	八王子	木村 正伸	伊香保GC
32	9:27	濱野 哲敬	レーサム	角田 浩	那須小川	白川 喜幸	妙高	小川 陽一	富士小山
33	9:36	今井 高行	塩嶺	守屋 玄	平川	中部 隆	袖ヶ浦	饒田 剛央	東京国際
34	9:45	今福 誉人	大厚木	村山 浩伸	エーデルワイス	塩谷 孝光	メイプルポイント	日比生 賢一	武蔵
35	9:54	名取 輝高	諏訪湖	福田 亮太	東千葉	本島 博久	皆川城	信岡 史将	成田GC
36	10:03	金村 利光	葛城	吉楽 尚生	十日町	寒河江 義則	中山	中村 修一	清川

競技委員長 内藤正幸

平成 29 年度 関東倶楽部対抗決勝競技

開催日 : 6月 19 日(月)

開催コース : 茨城ゴルフ倶楽部 西コース B クラス

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

(a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。

(b) 1 番と 9 番ホール間のナーセリーはプレー禁止の修理地とする。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

(a) 排水溝

(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

(c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

5. コースと不可分の部分

ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること

規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

7. 防球ネット

3 番ホール右側の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表 西コース: B クラス

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	362	400	549	447	505	196	437	208	418	3522
Par	4	4	5	4	5	3	4	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
370	428	541	214	435	211	393	566	415	3573	7095
4	4	5	3	4	3	4	5	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いエアホーン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いエアホーン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いエアホーン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

6. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

7. 移動

『付属規則 I(B)8 移動』を適用する(ゴルフ規則 183 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。

3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。

4. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。

5. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 箱(150 球)を限度とする。

6. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 内藤正幸